



株式会社 関家具工業 木尾

福岡/大川本社

831-0033 福岡県大川市穂保170-5

TEL:0944-88-3011 FAX:0944-88-0230

福岡/天神店

810-0021 福岡県福岡市中央区今泉1-2-30 天神プレイスEAST 1F

TEL:092-717-8500 FAX:092-717-8501

大阪/大阪店

540-0039 大阪府中央区本町橋2-14 スタニア本町橋 2F

TEL:06-6948-5216 FAX:06-6948-5217

東京/新宿店

東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワーリビングデザインセンター

OZONE 5F

TEL:03-3344-3551 FAX:03-3344-3553

東京/南青山店

107-0062 東京都港区南青山2-27-20 CGAビル 1F・2F

TEL:03-6721-1396 FAX:03-6721-1398

www.sekikagu.co.jp/mokuba/



ATELIER
MOKUBA
AOYAMA GALLERY

世界中に、ぬくもりを届けるために、生まれてきた。

一枚板になる、世界の銘木をさがして。

私たちは、さがしに行く。

ぬくもりを、さがしに行く。

まだ出会ったことのない銘木があると聞けば、

世界のどこへでも会いに行く。

世界にひとつの銘木から、

世界にひとつの一枚板をこしらえるために。





私たちが仕入れた木々は、
上海、ガボン、ミャンマー、アメリカ、
カナダ、タイなどから日本にやってきます。

私たちが世界中から集めてくるのは、
樹齢300年から400年の銘木。
その200種にもおよぶ木々は、
すべてが森林環境や地域社会に配慮した木材です。
持続可能な管理がなされている森林は、
その木材を伐採しても
二酸化炭素の排出を抑えることができます。
生物多様性の保全にも配慮しています。
一期一会。ようやく巡り会えた木々。
丸太のまま船に乗って、日本にやってきます。





木は80%以上が水分。

乾燥させるのに、3年から10年かかります。

海を越え、日本にたどり着いた丸太は、

製材工場でスライスし乾燥させます。

木は80~90%が水分。

反らないように割れないように、

3年から4年もの時間をかけて、

自然にゆっくりと乾かしていきます。





南北戦争のときの銃弾が出てくることもあります。

しっかりと乾燥した板は、

最新の木工マシンと職人の手によって美しく磨かれていきます。

木の厚さをまっすぐ均等に加工するのは、

まだ日本に数台しかないという

日本最大級のパーティクルミーリングマシーン。

長さ12000mm×幅1350mmまでの加工が可能です。

まっすぐに切り整えられた板は、

最後に職人の手でていねいに研磨されます。

木肌がなめらかに仕上がっているか、

手でなでて何度も磨きを確かめ、

塗装して、一枚板を完成させます。

私たちが手にするのは、樹齢300年から400年以上の木々。

1本1本それぞれに個性があり、

時には銃弾が出てくることもあります。

木が語り始める物語にふれてください。








樹齢400年の銘木からこしらえた一枚板は、
400年は生きると言われています。

私たちの一枚板は、学習机につくり替えたり、
子や孫たちに分けていくことができます。
人間よりも、長生きです。





ふれてみる。撫でてみる。
大地のようなぬくもりを感じる。
生きているんだ。

Material





Black Walnut

ブラック ウォルナット

学名 / *Juglans nigra* L. クルミ科

産地 / アメリカ東部及びカナダのオンタリオ州など。

特に、ミズーリー、オハイオ、インディアナなどが主産地。

特徴 / 木の外側は黄褐色。

中部は褐色から紫褐色で、不規則な濃淡の縞を持つことが多い。

木理は通直が多く、交差したものは高価。

木質はやや重硬で、狂いが少ない。

木肌はやや粗いが、ペンキやステインによくなじみ、艶出し加工で美しく仕上がる。

加工性も良く、釘打ちやネジ、接着の強度が保たれる。

気乾比重 / 0.63



Cherry

チェリー

学名 / *Tieghemella heckelii* A.Chev アカテツ科

産地 / 熱帯西アフリカに分布。

特徴 / 木の外側の辺材は黄白色から桃色。

内側の心材は淡い赤褐色から濃い赤褐色。

肌目も緻密で、心材に美しい光沢がある。

耐久性は高く、シロアリなどの虫害にも強い。

気乾比重 / 0.55



桂

カツラ

学名 / *Cercidiphyllum japonicum* カツラ科

産地 / 我が国特産種で日本各地に自生する。多くは北海道に産する。

特徴 / 外側は緑色を帯びた黄白色、中心部は褐色で外側と中心部の境目は明瞭。

木理は直通で肌目も緻密。軽軟だが靱性が高く反りにくい。

樹高は30m位にまでなる。葉は心臟形をしている。

春先に、葉に先だって暗紅色の花をつける。夏から秋に葉を採り、

それを乾かして粉にしてお香を作るので、コウノキ(香の木)とも言う。

また、雌雄異株で雄株の新芽は美しい紅色を呈する。

そこで、雄株を緋桂(ヒカツラ)、雌株を青桂(アオカツラ)と呼ぶことがある。

気乾比重 / 0.53



Wenge

ウェンジ

学名 / *M.laurentii* マメ科

産地 / アフリカのザイールに多く産する。

特徴 / 木の中心部は、淡い黄褐色の地に黒褐色の縞があり、装飾的な価値が高い。

木理はやや交錯し、肌目が粗く、リップルマークを持つ。

木質は重硬かつ強靱。耐久性は非常に高く、キクイムシやシロアリの虫害にも強い。

気乾比重 / 0.84



Bubinga

ブビンガ

学名 / *G. tessmannii*を含む*Guibourtiaspp* マメ科

産地 / アフリカの赤道地帯を、ナイジェリア南東部から、
カメルーン、ガボンを経て、コンゴ地域に分布。

特徴 / 木の中心部は桃色から赤褐色で、暗色の縞を帯びている。
心辺材の境目は明瞭。木目はほぼ通直で、肌目もほぼ緻密。
樹高45m、直径は2mに達するものもある。

気乾比重 / 0.80~0.96



Okume

オクメ

学名 / *Aucoumea klaineana* カンラン科

産地 / ガボン、ギニア、コンゴなどの西アフリカ

特徴 / 中心部が桃色から淡赤色、淡赤色から赤褐色と変化。
木目は通直から交差し、波状または不規則な場合もある。
肌目はやや粗くなっている。
肌目がマホガニーと似ているためマホガニーの
代用としてキャビネットなど装飾用にも使われる。
高さ60メートルにも及ぶ高木となる。

気乾比重 / 0.40~0.50



Curly maple

カーリーメープル

学名 / *Acer rubrum* カエデ科

産地 / カナダ東部、アメリカ東部

特徴 / 木理が波状模様で美しい空を形成している。

木の外側はやや桃色を帯びた白色で、中心部は淡赤褐色。

ハードメープルに玉空の小さな模様が出るとパーズアイメープル、

縮み空が出るとカーリーメープル、波状木理が出るとバイオリンシカモアと呼ばれ、

それぞれ美しい装飾性に人気があり、珍重されている。

気乾比重 / 0.70



楠

クス

学名 / *Cinnamomum camphora* クスノキ科

産地 / 本州。南部、中国、九州、さらに台湾、中国、インドシナに分布。

古くから造林される。

特徴 / 外側と中心部の境目は不明瞭で、

心材は黄褐色から淡い褐色、時に部分的に虹色を呈する。

木理は交錯し、肌目はやや粗い。

強い樟腦の香りを持つのが特徴で、この成分に防虫効果がある。

樹高30m、直径はときに5mに達する。

気乾比重 / 0.52



欏

ケヤキ

学名 / *Zelkova serrata* ニレ科

産地 / 本州、四国、九州、さらに朝鮮半島、中国に分布、植栽もされる。

特徴 / 外側と中心部の境目は明瞭で外側は淡い黄褐色。中心は黄褐色から黄赤褐色。

一般に木理は通直だが、時に玉杵・如輪杵などの美しい木目を形成。

成長が良いと密度が高く、重硬になり、表面には光沢があり、

成長が悪いと軽軟になり、光沢が減る。

樹高40m、直径2mに達する。

気乾比重 / 0.69



櫨

ナラ

学名 / *Quercus crispula* ブナ科

産地 / 北海道から本州、四国、九州に生育。樺太、千島、朝鮮にも分布。

特に、北海道産が質・量ともに有名で、「道産の櫨」と呼ばれる。

特徴 / 木の中心と外側の境目は明瞭で、

柃目面に虎斑といわれる独特な紋様を呈している。

外側は淡い紅色を帯びた白色、内側はくすんだ淡い褐色。

材は重硬で、切削などの加工は困難。乾燥は難しい。

硬くて割れやすいので、釘打ちの際には予備穴が必要。

気乾比重 / 0.67



杉

スギ

学名 / *Cryptomeria japonica* スギ科

産地 / 日本特産の代表的な樹種で、本州北部から南は屋久島まで生育する。

人工植栽は北海道南部にまで及び、その量は第一位である。

特に、秋田杉、天竜杉、吉野杉、日田杉、飯肥杉(おびすぎ)、屋久杉などが有名。

特徴 / 木の外側と内側の境目は明瞭で、外側は白色。

内側は淡い紅色から濃い赤褐色で木目は通直。

肌目の粗さや特有の香りも特徴のひとつ。

学名のクリプトメリアジャポニカは「隠れた日本の財産」と言う意味がある。

気乾比重 / 0.38



真樺

マカバ

学名 / *Betula maximowicziana* カバノキ科

産地 / 本州中部以北に分布し、多くは北海道に自生する。

特徴 / 外側は白色から淡い桃白色で、心材は淡い赤褐色から褐色。

中心部との境目は明瞭で、木理はほぼ通直。肌目が緻密なので、

ヤマザクラの代替品になることも。高さ30m、直径1mぐらいまでになる。

気乾比重 / 0.59



科

シナ

学名 / *Tilia japonica* シナノキ科

産地 / 北海道、本州、四国、九州に分布。蓄積量の大部分は北海道が占める。

特徴 / 中心と外側の境目は不明瞭で、外側は淡い黄白色から淡い褐色。

中心は淡い黄褐色から褐色を呈している。木理は通直で肌目も緻密。

欧米ではリンデンと呼ばれ、街路樹として親しまれている菩提樹（西洋科樹）と同類。

また、類似種にアオシナと呼ばれる

大葉菩提樹（オオバボダイジュ）があるが、

シナノキに比べ一般に径が小さく、材の色は白い。

花や果実は薬用に、皮は麻布や縄の代用とし、また製紙原料として使われる。

ヘラノキとも言う。高さ20mに達し、大径木になる。

気乾比重 / 0.43



榆

ニレ

学名 / *Ulmus davidiana* var. *japonica* ニレ科

産地 / 北海道、本州と広いが、大部分は北海道に産する。

また、樺太、千島、朝鮮、中国、シベリアなど広域に生育する。

特徴 / 木の中心がくすんだ淡い黄褐色から淡い褐色で、

中心部と外側の境目は明瞭に分かれている。木目はほぼ通直で、肌目は粗い。

樹高は、25～30メートルに達し、英語ではエルムという。

一般に言うニレは、ニレ科の樹木の総称で、

「ハルニレ」のほか「アキニレ」「オヒョウ」などがある。

気乾比重 / 0.59



Moabi

モアビ

学名 / *Moabi Baillonella Toxiperma* アカテツ科

産地 / ナイジェリア南東部、ガボン、メルーンなど

特徴 / 木の外側は、桃色を帯びた灰白色から灰褐色。
心材は赤褐色から暗赤褐色で、時に濃淡に縞をもつ。
木理はほぼ通直。肌目も緻密。

気乾比重 / 0.83



Iroko

イロコ

学名 / *C.excelsa*、*C.regia* クワ科

産地 / アフリカに広く天然分布している。

特徴 / 木の中心は、はじめは鮮やかな黄色で、
時間がたつにつれて金褐色に変色する。
木理は交錯し、肌目もやや粗い。耐久性は非常に高い。

気乾比重 / 0.56~0.75



Apa

アバ

学名 / *Afzelia africana* アメ科ジャケツイバラ亜科

産地 / 西アフリカ～中央アフリカ

特徴 / 収縮が小さく、乾いた材の寸度が極めて安定している。
重く非透水性、耐酸性を持ち、耐久構造材としては第1級。
神社仏閣用材にもよく使用される。

気乾比重 / 0.78



Zebra Wood

ゼブラウッド

学名 / *Microberlinia Brazzavillensis* マメ科

産地 / ナイジェリア、アイボリーコースト、ガボン、カメルーン、
ジンバブエ、ザンビア、タンザニアに分布。

特徴 / 外側の辺材は白色。中心部は間隔が狭く、
淡い黄褐色の地に黒褐色の縞を呈し、独自の光沢をもつ。
背景の色と縞の色の独特な対比が名前の由来。
木理はやや交錯し、肌目は粗くリップルマークをもつ。
樹高40m、直径1.8mに達する。

気乾比重 / 0.74



花梨

カリン

学名 / *Pterocarpus indicus* Willd マメ科

産地 / ミャンマー、フィリピン、インドネシア、ニューギニア、マレーシア

特徴 / 外側にあたる辺材は、一般的に淡い黄白色。

中心部は赤褐色で、時に縞模様をもつ。

木理は交錯。肌目は粗い。強靱で硬く、木質は重い。

切削・加工は比較的容易で、表面仕上は良好。

磨くと光沢が出て、美しい。

気乾比重 / 0.74



Red oak

レッドオーク

学名 / *Quercus* spp ブナ科

産地 / 全米一帯に分布するが、中東部のものが良く知られる。

特徴 / 辺材は白色から淡い黄白色。

心材は桃褐色から赤褐色で、径目面に虎斑が現われる。

辺心材の境目は明瞭。やや重硬で強度が高く、衝撃に強い。

気乾比重 / 0.70



Mahogany

マホガニー

学名 / *Swietenia macrophylla* King センダン科

産地 / 中米及び南米に分布。

特徴 / 木の中心部は、淡紅褐色から淡橙褐色を呈し、時に金色の光沢がある淡い褐色で、外側との境目は明瞭。
柾目面にリボン目が現れることがある。
古くから世界的な銘木の一つで、特に欧米で高く評価されている。
ホンジュラス産の、いわゆる「ホンジュラスマホガニー」が最高級とされるが現在では伐採禁止にされている。
今では有用な造林樹種として、
アフリカや東南アジアなどの熱帯地域で植栽されている。

気乾比重 / 0.59



Ovangkol

オバンコール

学名 / *Guibourtia ehie* J.Leonard マメ科

産地 / 象牙海岸、ガーナ、ナイジェリア、ガボンなど

特徴 / 外側は黄白色。中心部は金褐色から茶褐色で、黒褐色の筋をもつ。
木目は交錯し、肌目もやや粗い。やや重硬で強度が高い。
心材が赤褐色をしたブビンガもこれと同属の樹種である。

気乾比重 / 0.79



Tamo

タモ

学名 / *Fraxinus mandshurica* モクセイ科

産地 / 北海道、本州北・中部、また朝鮮半島、中国、サハリン、シベリアにも分布。

北海道は産地として著名。本州、四国、九州に分布するシオジ、アオダモは同属。

特徴 / 外側から淡い黄白色を呈し、中心は淡い灰褐色で、辺心材の境目は明瞭。

木理はほぼ通直で肌目は粗く、時に縮歪などの歪が現れる。

年輪の境界に大きな道管が環状配列して(環孔材)、年輪は明瞭。

年輪幅が広いと密度が高く、重厚となり(運動器具によい)、

狭いと軽軟となる。樹高25m、半径1mに達する。

気乾比重 / 0.65



水目

ミズメ

学名 / *Betula grossa* カバノキ科

産地 / 本州、四国、九州の深山に生え、高さ20メートルに達する。

特徴 / 木の色は黄白色で、心材は赤褐色。

中心部との境目は明瞭で、木目は通直、肌目も緻密。

割れや狂いが少なく、韌性も大きい。

材はかたくて弾力があるので、古くはこの木で弓を作った。

気乾比重 / 0.66



福岡県大川市。

木の町に育った少年は、

世界中をぬくもりで豊かにしたいと思った。

その少年は、小さな木工所の子に生まれた。

福岡県大川市は、日本一の家具の産地。

小学校の頃から木材の買い付けに行き、

商売について両親から叩き込まれた。

そして少年は昭和43年の春、

たった一人で事業を立ち上げた。

関家具のはじまりです。

70歳を超えた、少年の夢。

「ぬくもり」で世界中の人々を豊かにすること。

少年は、走りつづける。

東京・青山から世界へ、ぬくもりは広がっていく。



ATELIER
MOKUBA
AOYAMA GALLERY